
ONE PIECE 最強の転生者

横山 龍也

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ONE PIECE 最強の転生者

【ZPDF】

Z0864Z

【作者名】

横山 龍也

【あらすじ】

神様のミスで死んでしまった主人公は、三つの漫画の力を授かり ONE PIECEの世界に転生させられてしまった。とりあえず主人公がすることは . . . ?

プロローグ

「初めてして」

俺は誰かに声をかけられた。

「ここはどこなんだろ？　・　・　もしかして夢？」

辺りは真っ暗で何も見えない。

そう思つた瞬間、俺の前に光とともにやってきた女性。

「初めまして、私は全ての世界を統括する神です」

「あ？」

なんか突然やつてきた女が変なことを言い出したぞ？」

俺は何がなんだかわからない状況に混乱している。

しかし、そんなこともお構いなしにその女が話始めた。

「あなたは死にました」

はあ？

本田「一度田の混乱。

「あなたの人生は」これからでした。しかし私のミスであなたは死ぬ
ことに・・・」

じゃ～お前のせいじゃねーか！

夢だからなのかつまく声が出せない。

「お詫びとしてあなたをほかの世界に転生させます」

いやいや、勝手に決めるなよ神様。

「そうですねえ～どじが良いですか？」

どじがって・・・どんな世界があるかもわからないのに良いも悪い
もあるかよ。

「あなた・・・無口ですか？」

何も言わない俺に対して神様はそんなことを聞いてくる。

だから喋れないんだって！

「むう～仕方ないです。ではルーレットで決めさせてもらいますね！」

勝手に決めるなよ！

てか、もうなんかルーレットみたいな回ってるし・・・。

ぐるぐるぐるぐる

てが多いな！

何だそのルーレット！

俺の目の前には1000以上の項目が書かれたルーレット。
俺って昔から動体視力だけは良いんだよなあ。

バンッ！

急に止まるルーレット。

そして、そこに書かれていたのは『ONE PIECE』。

え？ ONE PIECEって・・・ワンピース？わんぱーす？
あの漫画の？？？

「ではONE PIECEの世界に転生をせますね」

また勝手に言ひついでがる。無理に決まつてるだり・・・でか死ん
じやつて・・・。

「あ、今のままじゃまたすぐに死んじゃいますね」

おお？
もしかして俺の心が通じたのかい？

少し嬉しい俺。

「では3つの力を授けます」

神様がそつと、また回りだすルーレット。

いや、それもルーレットで決めるのかよ！

「決まりました。

一つ目は漫画『めだかボックス』のキャラクターである球磨川 楔
の過負荷の力【大嘘憑き】
マイナス オールフィクション

。

一つ目は漫画『BLEACH』のキャラクターである朽木白哉が持つ斬魄刀【千本桜】。

三つ目は漫画『Get Backers -奪還屋-』のキャラクターである美堂蛮がもつ【邪眼】。

この三つです！それでは転生へ

神がそう言つと俺は頭が痛くなり、気を失つた。

黒瀬新一。21歳。

身長172cm

体重55kg

容姿

黒髪で瞳の色も黒の日本人。
顔は上の中ぐらいのかつこよさ。

性格

優しく冷静沈着でおおらかな〇型。しかしキレたら物凄く怖い一面も持つ。

能力

人並以上の運動神経とすば抜けた動体視力の持ち主。
神様から与えられた能力は【大嘘憑き】^{オルフィクション}、【千本桜】、【邪眼】の三つ。

【大嘘憑き】^{オルフィクション}

すべて現実を虚構にするスキル。傷を負った現実そのものを「なかったこと」にして傷を負う以前の状態に戻したり、自分や他者の死、視力等の五感さえも「なかったこと」にできる（因果律に関与するスキルの為、自身の死に対しては自動で能力が発動し、死にたくても死ねない状態）。

【千本桜】

能力解放と共に刀身部分が目に見えないほどの無数の刃に枝分かれし、対象を斬り刻む。この刀身に光が当たることで桜の花弁を思われるよう見える。だが一方で、解放中は刀身が消えてしまうため、斬魄刀を通常の「刀」として使う事が出来なくなり、防御が手薄になるなどリスクも生じる。そのため力のある相手と接近戦を行う場合などには、あえて解放を行なわず「刀」のまま剣技で戦うことも多い。

解号は「散れ『千本桜』（ちれ『～』）」。呂解時にも唱えることがある。

【邪眼】

相手に1分間の幻影を見せる。複数人、動物にかける事も可能。2
4時間以内に3回まで、同じ人間に一度しか通用しないという制限
が有り（瞬きをしなければ同時に複数人にかける事も可）、この禁
を破ると世界から消滅し他者の記憶からも完全に消滅する。

プロローグ（後書き）

わたくしれからぢづなるのか . . 。
といあえず好きなように書きたいと思ひますー。

マジで転生じゃなかったよ・・・

田が覚めるといつはあたたかい布団の中だった。

やつぱり夢だつたのか・・・？

新一がまだぼーっとする頭でそんなことを考えていると、急に現実に引き戻された。

「田が覚めたようだね」

女の人の声。

新一は身体を起こし、その声の主を確認した。

「・・・！」

見たことがある姿。

あれは・・・。

ノゾコ？

なんと新一の田の前にいたのはONLINE PRACTICEで競場するキャラクターのノジコだった。

「やつぱり夢じゃない．．．？」

それを確認するために、新一はノジコに話しかけてみる。

「おまえ？」

「ん？」「おまえがヤシシ村だよ」

「やつぱり夢なんだ！」

俺は本当にONLINE PRACTICEの世界に転生してしまったのだ。

「何も覚えてないのかい？」

「ノジコは俺を心配してくれるみたいだ。」

俺はとにかく情報を得ようと「あー」とだけ答えた。

「あんた、この家の前に倒れてたんだよ？本当に何も覚えてないのかい？」

「覚えていないわけじゃない。」

むじり頭も覚醒してすつきりしている。あの神様とかこいつやつのは
とも . . . 。

俺ははつきりと確信した。

本当にONE PIECEの世界に来たんだと . . . 。

それがわかつただけでいい。

まずは、今が原作のどの辺りなのかをノジコに聞いてみよう。

「ノジコは一人暮らしなのか？」

とつあえず今の状況を知るのなら、この質問でいいだらう。

「あんたまさか . . . 」

「？」

「変な」と考へてんじゃないでしちうね？」

なつ！――！

質問を間違えたのか？勘違いされてしまった。

「あつはつはつは。冗談だよ！」

「そうこういえばノジコってこんな感じだったたつけ . . 。

「そ、だねえ . . 。今はなかなか家に帰らない妹と一人暮らしか
な」

妹 . . 。

ナミのことだ！
つてことはまだルフィはナミを仲間にしていない . . つてことで
いいのか？

「そうなんだ。えっと . . 僕、行かなきゃいけない所があるんだ
けど船とかあるかな？」

俺は確信を得るために少しだけ言つ。

「 . . . 。

あなたがどうやってこの島に来たのかはわかんないけど、今はこの
島から出られないと思つたほうがいいよ

「どうして？」

「 IJの島はアーロンって海賊に奴隸されたまつりやるのや。」

アーロンはこの島に来る者も出る者も許さない……。だからこの島に船はないし、出て行こうとする気でもすぐに見つかって殺される」

やつぱりまだアーロンがいるのか。

ノジコの見た田は原作通り……「ことはまだルフィは東の海にいるってことか。

なら……俺のすることと、まだかくONE PIECEの世界に来たんだからルフィと旅でもするか！

やめ」とも決まつたし、ルフィを探して行つー！

俺は短絡的にそつ考えた。

「ノジコ、なんかお世話をなつたみたいで……ありがとな

「いや、それはいいけど……あなたこの島を出るつもつじやないだらうね？」

ノジコの表情が変わる。

「いやいや、ちょっと散歩してくるだけだよ」

俺は適当にやることを囁いて家を出た。

いや～まだ本当に転生するとは……。

ん?

みかんの木の下に何か落ちてる。

俺は悪いと思ったが、みかんの木の下に手を入れてそれを手に取つた。

「これは……」

そこに落ちていたのは刀だった。

「もしかして……千本桜?」

そういうえばゾジコは家の前に俺が倒れてたって言つてたな。
この世界に来た時にみかんの木の下に転がっちゃったのか？

しかも . . . 。

なんのサプライズかは知らないけど、今の俺の格好は死霸装しほへじょう . . .
つまりは黒い着物だ。

さすがに隊首羽織たいしゅぱおりは無かつたが、まあこの服装のおかげで刀を腰に
携えることが出来た。

俺は今アーロンパークに向かっている。

目的はもちろんアーロンをぶつ飛ばしてこの島を出て行くためだ。
あと、この3つの力がどれくらい使えるか . . . 俺の強さも知りたいしな。

普通は修行とかして強くなるんだろうけど、2年とかかっちゃつたらルフィたちは魚人島に行ってしまっし . . . 。

ぶつつけ本番が俺のモットーでもある！

もこれまで死ぬことになつてもそれはそれだ。

どうせみち一回死んでるからして、ONE PIECEの世界で楽しむためには強さがいる。

アーロンを倒せたらもう少し強いだろー

とつあえず今のゾロやサンジより強こいつになるとみなみしな。

そんなことを考えながら歩いているが、まつたくアーロンパークにたどり着かない。

「」

ビリはあるんだ?

たしか『パヤシ村から近かつたよ』つな . . .

「あ～あ、空でも飛べる能力にしてほしかったよ」

すでにやる気をなくしてゐる主人公・・・。

「てかなんでココヤシ村からなんだよー。いつこうのつていきなりル
フィ発見!とかなるんじゃねーの?」

「あ

そんなことを言つていたらアーロンパークが見えてきた。

「やべえ・・・緊張してきた」

三つの力を貰い最強かと思われた主人公だったが、心は一般人な新一だった。

「やっぱ死にたくねえ———」

マジで転生しちゃったよ・・・(後書き)

結局新一はアーロンと戦うんですかねえ？

実際に転生したら絶対戦わないと思います。
だってアーロンとか恐すぎじゃん？笑

新一、初めての戦い

といひて來てしまつた。

新一は今、アーロンパークの入り口前に立っている。

「行くか

意を決してそつぱんへと躍わみへつ開く。

おじや まへす ． ． 。

心の中でやつぱり。

口上せ由ねいぢ?

だつてかつこ悪いじやん！

扉を開けた先にはアーロンがこちらを睨んでいる。

「ああん？」

ええええええええ

「なんだてめえは？」

セリヒに声を荒げて言つアーロン。

まあ、いきなり嫌いな人間がやつてきたら機嫌も悪くなるだろ？

そう考へていると、モブキャラである魚人が新一に近付いてきた。本来ならルフィたちに一瞬、一コマで瞬殺される程度の奴らだ。

でも実際見たらいちめつちや恐い！

しかしそんな思いを悟られてはならないと、俺は強気な態度を取る。

「お前らがこの島を支配してゐるアーロン一味か……悪いけどお前らを潰させてもらひう」

言った――――――――――

うつわ、凄い顔でアーロンに見られてる……。

でももう後には引けない。

俺はゆっくりと千本桜に手をかけて、そして刀を抜い . . .
抜けねえ !!

あれ??

そういうえば刀って素人が抜くのは難しいんだっけ?

やたら堅いんだけど . . .

やばいーーこのままじゅめつけちゃかっこ悪いじゃん!

くつわくじんなことなら来る前に練習してくんだった . . .
ぶつけ本番が仇になってしまったよ。

ん~もしかして角度とか関係あるのかな?

俺はアーロンたちにバレなことひにそつと刀を引き抜いた。

カキン・・・。

お?

なんかわかんないけど抜けた!!

「そんな物騒なものを持つて何するんだ?」

アーロン一味のモブキャラたちが新一に近付いてきた。

えっと・・・確か解号は・・・。

「散れ・・・千本桜」

新一がそう言つと千本桜の刀身が消えた。

「・・・刀身が・・・消え・・・」

モブキャラやアーロンたちも驚いている。

その瞬間、モブキャラたちが千本桜によつて斬り刻まれた。

「うう……。

予想以上にグロ……。

俺の周りではモブキャラたちが血塗れになつて倒れていく。

「俺はアーロンに用があるんだよ。雑魚は引っ込んでな
てか勝手に斬り刻まれたけど……まあ、初めてだしコントロール
できないのも当然か?」

「あ、ここはかかるといじやね?」

「俺はアーロンに用があるんだよ。雑魚は引っ込んでな

「ちゅうひやつたぢー!」

つてかめつぢやアーロンが睨んでる。

「ちゅー……みくも同胞を……」

アーロンはさう言つながら座つてたイスから立ち上がつた。

で、でけえ――――!

俺の倍はあるんじやないか?

そう思わせるほどアーロンの身體は大きい。

「アーロンさん……あなたは座つてくれ

お、ハチ、チュウ、クロオビの三人の幹部が出てきた。

痛え . . . 。

俺は三人の幹部に瞬殺された。

「シャーッハツハツハ。ビツヤリロだけの男だつたよつだな

アーロンが笑つてゐる。

「セヒーの野ビツあるか . . . 」

クロオビは腕を組みながら言つ。

「 . . . 殺せ」

アーロンが不敵な笑みを浮かべながら新一を見ている。

「この下等種族は俺の同胞を亡き者にした。こいつは殺して、捨てとけ」

アーロンのその言葉を聞いたハチは倒れている俺に近付き「ニコ～、何か言い残すことはあるか?」と聞いてきた。

俺は薄れゆく意識で「雑魚が・・・」とだけ言った。

雑魚はどう見ても俺の方なんだが、最後までかつこよくいたいと思つたために出た言葉だった。

ザクツ・・・

ハチは持っていた剣で新一の身体を突き刺した。

「シャーッハッハ、少しは気分もすつきりしたぜ。

だが、まだだーこのままロマヤシ村にでも行つて、あと2、3人ぶち殺してやるか・・・」

「チユ、それはいい考えだ」

そしてアーロンたち4人はスタスタと歩きだした。

あれ？

生きてる・・・。

新一の意識が戻る。

そうか！大嘘憑きオールファイクションが発動したんだ！

なるほど、なんとなくだけ発動の仕方が理解できた。

右手には千本桜もある。

「散れ
・
・
・千本桜」

「！？」

千本桜がハチ、チュウ、クロオビを斬り刻む。

そして俺はゆっくりと立ち上がる。

いきなり3人が血だらけになつて倒れたので、アーロンは何が起き

だが、後ろに感じた人の気配に驚愕した。

「おやこじだれ」の「れ」

アーロンはキレた時の目で新一を見た。

めつひや恐いけど……せつぱいじま話張つけるべきだろ？

『大嘘憑き！』

オールファイクション

『俺の絶命を……なかつたことにした！』

マネさせてもらったよ球磨川。

でもここからは俺の戦いだ。アーロンとの一騎打ち。

この戦いで力をコントロールしてみせる！

新一、初めての戦い（後書き）

いや～次はアーロンとの戦いですが、どんな戦いになるのか。

ルフィたちはいつ登場するのか。

まったくわかりません！笑

長い目で見てやってください。。。。

隙だらけの戦い

【そりいえば卍解ってどうやるんだ？

確かに卍解取得には本体の具現化と屈服が必要だつたはず . . . 。

卍解とは . . . 。

本体の具象化と屈服が必要。

斬魄刀解放の一級階目。始解同様に変形、特殊能力の付加などが伴うが、基本的に始解の能力・特性を強化したものである場合が多い。戦闘能力は一般的に始解の5倍から10倍と言われており、その強大さ故に斬魄刀戦術の最終奥義とされている。

また、卍解修得者は、斬魄刀の名を呼ぶ事なく始解することも可能。卍解に至るのは才能のある者でも10年以上の鍛錬が必要とされ、卍解修得者は例外なく尸魂界の歴史に永遠にその名を刻まれる。

具象化とは、対話の際に死神が精神世界に赴くのではなく、斬魄刀の本体を死神のいる世界に呼び出す事。卍解に至るのが困難とされる理由は、具象化に至るのが困難なためである。具象化した斬魄刀の本体を倒す事を斬魄刀を屈服させると言い、これに成功して初めて卍解を修得できる。

千本桜 . . . 卍解形態。

斬魄刀を地面に向けて落とすと同時に解放。落ちゆく斬魄刀は地面に吸い込まれるように沈み、直後、所持者の背後から大量の巨大な刀の刀身が生え、それが塵のように舞つて散る。「目に見えないほど小さい千本の刃」が能力である千本桜の刃がさらに増え、総数・億を越すほど膨大な刃を出現・操作する。

見えない刃で斬りつける本来の用途以外にも、刃を圧縮して殺傷力の高い剣を造り出したり、相手を無数の刃で球状に囲んで逃げ場を無くしたりと非常に応用が効く。

この千本桜も同じようにしなきゃダメなのか?

それだと才能ある者でも10年はかかるって言われるんだから無理じゃね?

でも始解は解号を言つただけで発動させることが出来た。もしかしたら卍解も意外と簡単にできるんじゃないかな?

新一は刀の切つ先を地面に向けて「卍解!」と言つて千本桜を地面に落としてみた。

キンシ　．　．　．

新一が落とした千本桜は重力に逆らひ「となく」地面に落ちた。

「やつぱり無理かあ　．　．　．

いや、もう一回やってみよう！

次はもっと集中して、よくわかんないけど力を入れる感じで　．　．　．

新一はぶつぶつと何か言いながら千本桜を拾い、何に集中しているのかわからないが、とにかく集中した。【

「どうこう」とだつてやあ

アーロンはキレた時の田で新一を見た。

『大嘘憑き！』

『俺の絶命を……なかつたことにした！』

同胞がやられてキレてしまつたアーロン。

新一を睨みながら体に力を入れる。

「鮫 シャーク
・ オン・ダーツ
・ オン・ダーツ
ON · D A R T S !」

アーロンはそう叫ぶと新一を田掛けて頭から突進してきた。

「はっや……！」

ザクッ！

アーロンのノゴギリのような鼻が新一の心臓を突き刺す。

鼻に突き刺さった新一を地面に叩きつけるが、新一は「大嘘憑き」^{オールフィクション}と言つて立ち上がった。

新一はアーロンに対抗しようと千本桜を解説させようとするが、アーロンの鮫^{シャーク・オン・ダーツ}・ON・DARTSが速すぎて反撃できないでいた。

アーロンも千本桜の力を見ているので警戒しているのだろう。攻撃の手を休めずに新一を即座に、何度も殺していく。

しかし、何度も殺しても立ち上がる新一にアーロンは苛立ちを隠せない。

しかし同時に、新一がなんらかの理由で死なないことを確信するアーロン。偉大なる^{グランドライン}航路出身の彼は新一が“悪魔の実”の能力者であると推測した。

不死身・・・そんな能力があるのかと疑問も感じたが、実際に死なない新一を前にしてそんな疑問は無意味だと悟った。

「死なないということはわかった・・・だがこの俺が下等種族である人間に負けるわけがない」

アーロンはそう言つと新一を掴んで持ち上げた。

それと同時に新一が持っている千本桜を奪い、海に沈めた。

「死なないことこのなんう」のまま殺されずに生かしてやる。」

新一がアーロンの言葉を聞いたのはこゝまでだつた。アーロンが新一の首に手刀を入れて氣絶させたのだ。

【良し！ 卍解は出来た。

あとは白帝剣にしてみよつ。

新一は卍解が出来た喜びからなのか、軽い感じでやわらかしていた。

終景・白帝剣。

千本桜景巖の全ての刃を圧し固め、一振りの究極の剣にした形態である。

「終景・白帝剣！」

アーロンが新一を持ち上げてしばらく経った。

(どうせ復活しねえようだな)

新一が復活しないことを確認するとアーロンの口角が上がる。

「シャーツハツハツハ、これで安心だな。」のままどいかの土にでも深く埋めれば復活してもまたすぐに死ぬだろ？

「つまり無限に繰り返す死を考えているよつだ。」

確かに大嘘憑きでもこれなら復活できないだろう。
オールファイクション

まあ、土をなかつたことにはすれば助かるかもしけないが、さすがにそれは新一には出来ないだろう。

アーロンは新一をとりあえず地面に叩きつけ、指定の椅子であるつ
場所に座る。

「シャーッハッハッハ

今までアーロンがいた世界まるでガラスのように砕け散り、白帝

「 . . . ! ! ?」

ザクッ . . 。

パリーン!!

パキパキパキ

パキ . .

「 . . . 一分」

剣でアーロンの腹部を刺していく新一がアーロンの目に映った。

「お前が今まで見ていたのは幻だ……。残念だったな、アーロン！」

俺はまんまとアーロンを出し抜いたことでテンションが上がり、クールなキャラを演じていた。

ふつふつふ……決まった。

「いふひ……下等種族が……一体いつから……」

アーロンは口から血を吐きながらも聞いてきた。

「お前がキレイで俺を見た時や……」

俺のその言葉を聞いてアーロンは倒れた。

隙だらけの戯い（後書き）

なんかアーロンのキャラが崩壊しそぎへでしたね・・・泣
説明も多くてすみません。でもお気に入り登録が多くて作者は嬉しいです！笑
テンションだけで書いてる感じもありますが・・・こんな作者でもよろしくです！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0864z/>

ONE PIECE 最強の転生者

2011年12月5日22時53分発行